

2012年度 中央大学共同研究費 一研究報告書一

研究代表者	所属機関	文学部		2012年度助成額
	氏名	都筑 学		3,659 (千円)
	NAME			
研究課題名	和文	中央大学における発達障害をかかえる学生の実態把握と教育・発達の支援に関する研究	研究期間	2012年度 ～2013年度
	英文			

1. 研究組織

	研究代表者及び研究分担者		役割分担	備考
	氏名	所属機関/部局/職		
1	都筑 学	中央大学・文学部・教授	統括・人格発達研究	研究代表者
2	上林 靖子	中央大学・文学部・教授	対人関係研究	研究分担者
3	山科 満	中央大学・文学部・教授	心身相関研究	研究分担者
4	緑川 晶	中央大学・文学部・准教授	認知・感覚研究	研究分担者
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
合計		4 名		

## 2. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 1000 字程度、英文 100word 程度）

（和文）

2007 年度から特別支援教育が学校教育法に位置づけられ、全ての学校において、さまざまな障害をもつ児童生徒の自立と社会参加に向けた支援がおこなわれるようになった。日本学生支援機構が実施した 2010 年度の調査によれば、発達障害をかかえる大学生は全国で 1064 人にも及び、5 年前に比較して 8 倍を超えている。

中央大学においても、学生相談室や学部事務室、キャリアセンターなどにおいて、従来からさまざまな困難な問題を示す学生がいたが、その中には発達障害の学生も一定数含まれていたと思われる。高校から大学への進学は、大きな環境移行であり、大学という新しい環境に適応していくことが求められる。社会性の面で問題をかかえる発達障害の学生は、スムーズな環境移行に失敗し、大学生生活に不適応的になりやすい傾向がある。卒業時における大学から社会への環境移行に際しても、同様の問題を生じやすい。そのような発達障害の学生に対する支援体制を全学的な視点から構築していくことは、きわめて重要な教育的な課題である。

本研究では、次の 3 つの課題を検討することによって、中央大学における発達障害の学生に対する教育的・発達の支援システムのあり方について考察し、彼らに対する支援の課題を提起することを目的とする。

課題 1 中央大学における発達障害をかかえる学生の生活や意識の実態把握

課題 2 高等教育機関における発達障害をかかえる学生に対する支援の現状把握

課題 3 中央大学における発達障害の学生への支援のあり方についての提起

本年度はプロジェクトチーム研究会を 19 回、外部講師を招いた公開研究会を 2 回を実施した。夏休みには、富山大学の発達障害をかかえる学生への支援体制を視察した。7 月には、法・経・商・理工・文学部の学生 3,348 人を対象に、特別支援教育総合研究所（2007）が作成した学生の困り具合質問紙（38 項目）を実施した。得られた結果をまとめてパンフレットを作成し、多摩キャンパスと理工キャンパスにおいて中間発表会を実施した。2 回の発表会で 36 人の参加者があった。本年度は、課題 1 と課題 2 に取り組むことができたと言える。また、中間まとめ（パンフレット）や中間発表会を実施することで、教職員への関心を一定程度呼び起こすことができたと言える。

（英文）

This study aimed to clarify the following three points. Firstly, we examine the real situation of developmental handicapped students in Chuo University. Secondly, we visit another university to examine support system for the developmental handicapped students. Thirdly, we construct a new support system for these students in Chuo University. We held nineteen business meetings to plan our activities and two seminars about developmental handicapped students' life and career development. We visited Toyama University to see social network system supporting developmental handicapped students. We conducted questionnaire concerning difficulties in college life for 3,348 students. Thirty six professors and staffs joined two meetings presenting mail results of the questionnaire.

